

新潟県魚沼市・横根集落の美しい風景を伝えるスマートフォンアプリ

「よこねアーカイブ」公開

高齢化の進む山里における継続的な地域活性化の実践

首都大学東京システムデザイン学部渡邊英徳研究室と新潟県は、平成26年度「大学生の力を活かした集落活性化事業」の成果物である、新潟県魚沼市・横根集落の美しい風景と文化を伝えるスマートフォンアプリ「よこねアーカイブ」を、4月30日より公開しました。App Store（配信中）またはGoogle Play（5月中に配信開始予定）から、無料でダウンロードできます。

「よこねアーカイブ」は、最新技術を用いて、高齢化の進む山里の魅力を世界に伝える試みです。地図上のアイコンをクリックすることで、住民の方々から寄せられた思い出の写真、集落の現在の風景、そして民俗文化を撮影した映像を閲覧することができます。さらに現地においては、GPS および AR（Augmented Reality、拡張現実）技術を用いて、写真や映像をスマートフォンカメラの視野に重ね合わせて表示することができます。

首都大学東京の学生チームは「よこねアーカイブ」の制作にあたり、集落を3回にわたって訪問し、住民の方々とのワークショップを開催しました。ワークショップでは、50代～70代の参加者による「紙地図による写真と記憶の共有」、子どもたちによる「世界に伝えたい「もの・場所・こと」の撮影」が行われました。その成果物をアプリとして公開することによって、地域内における「人と人とのつながり」「人と技術のつながり」を生み、継続的な地域活性化の一助となることを企図しています。

■ 「よこねアーカイブ」ダウンロード URL:

iOS (App Store) : <https://itunes.apple.com/us/app/yokoneakaibu/id985100553?l=ja&ls=1&mt=8>

Android (Google Play) : 5月中に配信開始予定

■ 「よこねアーカイブ」制作ワークショップ報告記事（ハフィントン・ポスト）:

http://www.huffingtonpost.jp/hidenori-watanave/regional-vitalization_b_6118944.html

【お問合せ先】

■首都大学東京 システムデザイン研究科 インダストリアルアート学域

渡邊 英徳 TEL: 090-9835-2695 E-MAIL: hwtnv@tmu.ac.jp

■新潟県 総務管理部 地域政策課 特定地域振興班

山田 英範 TEL: 025-280-5095 E-MAIL: ngt010130@pref.niigata.lg.jp



「よこねアーカイブ」画面イメージ

「よこねアーカイブ」掲載資料(2015年4月30日時点)

- 横根集落の思い出の写真（地域住民提供）
 - 現在の横根集落の風景写真（地域の子もたち・首都大学東京学生撮影）
 - 民俗文化を撮影した映像（首都大学東京学生撮影）
- 注）今後も継続して資料収集を進める予定

「よこねアーカイブ」制作チーム

- 菊本有紀、高田百合奈、田村賢哉、荒木祐介、譽田千里、佐野大河、篠浦理嵯、木村汐里、関真由美、長濱啓輔（首都大学東京学生）
- 渡邊英徳（首都大学東京システムデザイン学部准教授）
- 大野久美子（魚沼市地域おこし協力隊 横根地区担当）

新潟県「大学生の力を活かした集落活性化事業」について

過疎・高齢化等により地域内の活動の担い手が不足している集落に、外からの力として大学ゼミ等が入り、大学生の若い発想力や行動力、専門知識を活かして集落活性化に向けた調査研究を行い集落活性化策のヒントを探るほか、住民と学生とが交流し互いに刺激し合うことで地域の活力向上を図る事業です。

首都大学東京「渡邊英徳研究室」について

渡邊英徳研究室＋ネットワークデザインスタジオでは、情報デザイン、ネットワークデザイン、Webアートの研究を行っています。これまでに発表した作品は、2013年度グッドデザイン賞、第40回「日本賞」、アルスエレクトロニカ2013、第13回、14回文化庁メディア芸術祭で受賞するなど、国内外で高い評価を受けています。

ウェブサイト：<http://labo.wtnv.jp/>